

小中連携（外国語活動・外国語（英語））についてのアンケート

73

応答

02:41

完了するのにかかった平均時間

終了済み

状態

1. 中学校名を入力してください。（例：○○中学校）

[詳細](#)

[インサイト](#)

73

応答

2. 中学校区内の小学校と、外国語（英語）について情報交換等を実施している。

[詳細](#)

[インサイト](#)

- している 37
- していない 33
- 今後予定している 3

37

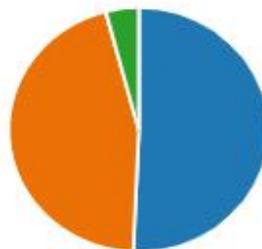
51 %

33

45 %

3

4 %



3. している場合、その実施状況についてあてはまるものに○をしてください。

[詳細](#)

[インサイト](#)

- 年間1回程度 19
- 年間2回程度 2
- 学期に1回程度 7
- 毎月 10

19

50 %

2

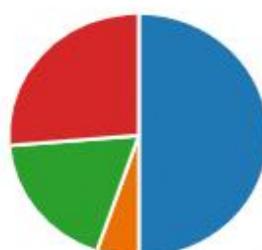
5 %

7

18 %

10

26 %



4. 中学校区内の小学校の外国語活動・外国語の授業を参観している。

[詳細](#)

[インサイト](#)

- している 15
- していない 53
- 今後予定している 5

15

21 %

53

73 %

5

15 %



5. 参観実施対象者について当てはまるものに○をつけてください。（複数回答可）

[詳細](#)

- 管理職 5
- 英語科教員 29
- その他の教員 6

13 %
73 %
15 %

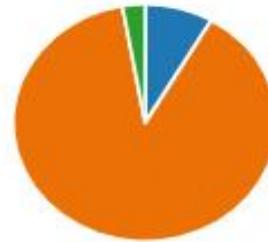


6. 英語科教員が中学校区内の小学校教員対象の校内研修を実施している。

[詳細](#)

- している 6
- していない 64
- 今後予定している 2

8 %
89 %
3 %



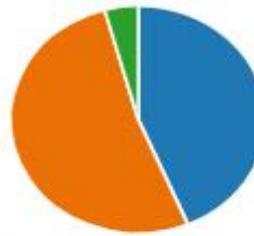
7. 中学校区内の小学校に、英語科教員による出前授業を実施している。

[詳細](#)

インサイト

- している 31
- していない 37
- 今後予定している 3

44 %
52 %
4 %



8. 中学校区内の小学校の教員と外国語（英語）のカリキュラムの作成を行っている。

[詳細](#)

インサイト

- している 9
- していない 63
- 今後予定している 0

13 %
88 %
0 %



9. 中学校区内の小学校の教員と共同で、外国語（英語）の教材づくりを行っている。

[詳細](#)

インサイト

- している 10
- していない 61
- 今後予定している 0

14 %
88 %
0 %

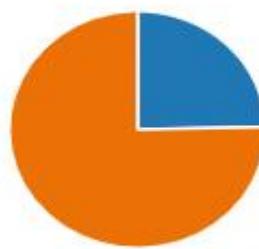


10. 小中連携をする英語科専任教員がいる。

詳細 インサイト

- いる 18
- いない 55
- 今後予定している 0

25 %
75 %
0 %



11. その他、外国語（英語）による小中連携を実施していることがあれば、ご自由にお書きください。

21 応答

3	anonymous	小学校に出向く出前授業ではなく、小学生が来て授業体験はしています。
4	anonymous	小中連携は中学校側の負担が大きい。中学校からの提供に片寄っており、小学校側から中学校に得られるものを感じられていないのが、正直な感想である。
5	anonymous	毎年1回、「小中合同研修会」を実施しています。昨年度は中学校の教員が校区内2校（　　）に授業参観に行き、情報交換しました。今年度は小学校の先生方が　　中の授業参観に来られて情報交換を実施する予定です。授業については、今年度より英語専科加配教員が配置され、週1回ずつ　　小と　　小の5、6年生の外国語の授業を小学校の先生方と行っています。
6	anonymous	特になし
7	anonymous	特になし
8	anonymous	夏休みに小中合同の「英語村」を実施している。
9	anonymous	とし始め小学校にCnetの先生と挨拶に行った。その際、中学校の英語の様子を話す。
10	anonymous	オンラインによる出前授業
11	anonymous	c-netの先生を介して、小学校の進度や状況を聞いたりしている。

12	anonymous	ありません
13	anonymous	小学生が中学校に授業を受けにくくする。
14	anonymous	CNETの活用
15	anonymous	昨年度から、中学校区で「がんばる先生」での研究に取り組んでいます。
16	anonymous	小学校の英語に関する達成度の評価を学期に一度行っている
17	anonymous	きめ細かい指導をするなら教員の配当を増やすべきである
18	anonymous	年に一度、校区の小学生が来校して、体験授業をしています。中学校教員で順に担当しているため、教科は決まっていません。
19	anonymous	CNETを介した情報交換。
20	anonymous	小学校の英語の授業で求められていることと、中学校の英語の教科書で、小学校での既習事項として扱われている内容がありにも違うので、そのギャップを埋めるための連携が必要だと感じています。
21	anonymous	特になし

2023年10月実施 英語科における「小中連携アンケート」の結果考察

英語部が10月に実施した英語科における小中連携アンケートの結果を報告します。
73校からの回答がありました。ご多忙な中ご協力いただき、ありがとうございました。

質問2の「小学校と中学校との情報交換等」は、51.4%がしているという回答であった。本市では教育センター主催の中学校、小学校英語科担当教員との合同研修会が毎年1学期に開催されている。昨年度と今年度はTeamsを使っての集まりとなったが、同じ校区の中学校教員と小学校教員とが授業の進め方や教材などについて情報共有できる場となっている。悩みや疑問なことがらなども中学校、小学校のそれぞれの立場から伝え合い、校種間のギャップを埋めていく良い機会となっている。

質問4の「小学校の外国語活動・外国語の授業を参観している」は20.8%が参観しているという回答であった。この質問に関しては2021年度に実施した中学校1年生担当教員へのアンケートでは70%がしているという回答であったので、残念ながら数字が下がっていることになる。2020年度は小学校の新学習指導要領が完全実施され、3, 4年生の外国語活動が週に1時間、5, 6年生の外国語が必修教科となり、週に2時間の実施となった。2021年度のこの質問の回答結果の数字が良かったのは学習指導要領改訂にともない、中学校教員の小学校の授業内容に対する関心が高まっていた時期であったからかもしれない。

質問8、9の「小学校中学校連続したカリキュラム作成」や「小学校教員との共同での教材作成」に関してはまだ進んでおらず、これから課題となる。

最後に自由記述についてであるが、「中学校区では同じC-NETが授業を受け持っているのでC-NETを通して小学校の様子を知ることができる。」という回答があった。C-NETを通して小学校での学習内容を知ることができるという大きな利点がある。また「小学校で取り扱われた語彙などが、中学校の教科書で既習となっているが、定着とは言いがたい。」という意見があった。小学校においても4技能5領域の英語教育が始まったとはいえ、まだまだ音声中心の学習である。中学校の学習内容との差異に悩む生徒もいる。このギャップを埋めるためにも連携が必要であるという意見があった。また小中連携は学校区によって差がみられるようである。中学校の英語科に小中連携担当の教員がいる学校においては比較的スムーズに連携が行われている。